

平成23年 松前町議会 《3月7日～14日》

第7回定例会

第1回定例会は3月7日に招集され、平成23年度各会計当初予算など町長提出案件25件、議員提出案件7件を審議し、会期を3日残して14日に閉会しました。

一般質問は、6人の議員が7問について町長の考えを質しました。(一般質問の内容は、4ページ～9ページに掲載しております。)

視点

町政執行方針に
対する主な質疑

問 町営住宅の今後の整備の考え方は？

答 今、4百戸くらいの町営住宅がありますが、全体的には人口減に伴って減らして良いと思っています。これまでではリフォームをしてより長く使えるような事業について交付金の対象になっけていませんでしたが、これが交付金の対象となりましたので、まだ使える住宅をさらに長く使っていくと考えると考えていますし、起債の許す範囲で新築もしていかなければならないと思っています。

問 観光協会の運営について町がどのように応援、支援していくのか？

答 観光協会は松前町の観光の具体的な担い手であり、ますから苦しい立場に置かれるわけにいきませんので、全面的な支援はしていきますが、

観光協会としての自助努力、創意工夫が前提になると思っています。

問 公共交通のあり方についてどう方向付けをするのか？

答 目的別に現在バスが運行されていますが、そういったものをさらに強くしていくのか、またコミュニティバスの検討もしていますが、大きなバスじゃなくて、20人乗りや10人乗りくらいの小さな交通移動機関を多く用意して、町民のニーズに添えていく、今の松前の地理的環境、また利用者の数を考えたらそうなるのではないかと考えています。

問 債権管理条例や行政サービスを制限する条例の制定は慎重な対応が必要であると思うが？

答 悪質滞納者に対してのことでありまして、例えば昨年比べて漁が無く、しかし昨年所得に対して課税されまので、そういうことがあるとか、病気をしして仕事ができなくなったとか、理由があれば決して悪質滞納者にはなりません、

適切な対処はしていくことになると思います。悪質滞納者をどう定義していくか今後詰めていきたいと思えます。

教育執行方針に
対する主な質疑

問 パークゴルフ場を増設し全道レベルの大会を誘致する考えはないか？

答 各市町村でパークゴルフ場の整備が進み一つの町に大勢こられることがなかなか無いと思います。大きな大会を開催することになれば18ホールではなく36ホール必要になりますし、コースの認定を受けることも条件になります。各市町村のパークゴルフ場の利用状況など将来的に増設する必要や需要の調査など研究していきたいと思えます。

問 青年の育成をどう図っていくのか？

答 雇用を求めて町外に出る方が多くおられて現実的に青年の数が非常に少なくなってきたいます。青年育成はリーダー養成だと思

いますので、何人か松前で頑張っている方々がいれば、将来のリーダーになっていただけるような体験をする機会などを作っていく必要があると思います。

問 郷土芸能をどう守っていくのか？

答 郷土芸能の保存、伝承について、町内に本当に古くから伝わっている郷土芸能で指定をされている文化財もあります。地域の状況によっては、一番心配をしなければならない後継者の

問題がありますが、何校かの子どもが一緒になったときに、1つのチャンスだと考えておられて「それをやってみよう」という子どもが多く出たときに、そういった活動を伝え、そして継承していくという新しい可能性も出てくると考えています。

採択した
意見書

1. 新たな高齢者医療制度に関する意見書
2. 住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書
3. 地域医療存続のための医師確保に関する意見書
4. 保育制度改革に関する意見書